日刊スポーツ NIKKAN SPORTS
2017年（平成29年）2月11日 土曜日
電子号外

スマイルスマイル2連勝

ニッカン

女子アイホ

五輪王手

フランスも撃破

	日本	ドイツ	フランス	オーストリア	勝ち点
日本	※	2・12	4○1	6○1	6
ドイツ	2・12	※	3□2	4○1	5
フランス	1●2	2■3	※	2・12	1
オーストリア	1●6	1●4	2・12	※	0

【注】□＝延長勝利（勝ち点2）、■＝延長敗戦（同1）

日本 4（1―0、1―1、2―0）1 フランス

12日ドイツ戦勝てば日本一番切符！

女子アイスホッケー 平昌五輪最終予選

◇第2日◇11日◇北海道苫小牧市・白鳥王子アイスアリーナ

世界ランキング7位の日本代表「スマイルジャパン」がフランス（同12位）に4―1で競り勝ち、来年の平昌五輪出場に王手をかけた。第1ピリオド（P）2分21秒、FW久保英恵のパスからFW中村亜実がゴールして先制。第2Pに床秦留可が追加点を奪った。フランスに1点こそ返されたが、第3Pに久保、FW浮田留衣がゴールを決めて突き放す価値ある勝利。2連勝で勝ち点6となり、首位を守った。

初戦のオーストリア戦、スマイルジャパンは「コチコチジャパン」だった。第1Pを終えて1―1と重苦しい空気の中、控室でどんよりした雰囲気を振り払ったのがFW中村亜実の言葉だった。「私たちはスマイルジャパンでしょ。笑顔で行こうよ。思い切ってやろう」。当たり前の言葉だが、そうした思いを口に出すことでチームは本来の姿を取り戻した。

そして明日12日、勝ち点5のドイツ（同8位）との大一番。これに勝てば2大会連続の五輪出場が決まる。

第1P、先制ゴールを決め、FW久保（右から3人目）と喜びを分かち合うFW中村（同4人目）　(上)第1P、シュートをセーブするGK藤本（右）。手前はDF細山田（撮影・狩俣裕三）